

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 AE 組

教科担当者：（ AE組：小瀬川 ）

使用教科書：（ 新編 現代の国語（東京書籍） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
1 学 期	単元『さくらさくらさくら』 【知識及び技能】 漢字の読みに慣れ、文章の中で適切に使用できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨くことができるようになる。 内容や構成、論理の展開についての的確に捉え、要点を把握できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の考えを整理しようとしている。	・指導事項 書くこと ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要点や要点を把握すること。 ・教材 単元プリント、漢字小テスト パソコン、便覧 ・一人1 台端末の活用				・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・内容や構成、論理の展開についての的確に捉え、要点を把握している。 ・日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。				12	
	定期考査									1	
	単元『いろは歌』 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ることができるようになる。	・指導事項 書くこと オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 読むこと ウ 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。 ・教材 単元プリント、パソコン、便覧、古文単語 ・一人1 台端末の活用				・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。				12	
定期考査									1		
2 学 期	単元『デューク』 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、文章の中で適切に使用できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話しの展開を捉えられる。	・指導事項 書くこと ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 読むこと イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ・教材 単元プリント、漢字小テスト、パソコン、便覧 ・一人1 台端末の活用				・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話しの展開を捉えようとしている。				13	
	定期考査								1		
	単元『訓読の基本』『故事成語』 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 伝統的な言語文化 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 ・教材 単元プリント、漢字小テ				・古典の世界に親しむために、古典に必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。				13	



高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

数学

科目

数学 I

教科: 数学

科目: 数学 I

単位数: 2

単位

対象学年組: 第 2 学年 AE 組

教科担当者: ( 浅井 嘉信 )

使用教科書: ( 新数学 I 東京書籍 )

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

数学的な表現や処理の仕方を得得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

積極的に基礎計算力を高め、授業中の記録を丁寧にノートにとり、学習している内容を復習できる習慣を身につける。

科目 数学 I

の目標: 数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察して処理する能力を高める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において、数量や図形などに関する基礎・基本的な概念や原理・法則について理解度を図る問題を出題し、これらの問題を5割以上得点することを目標にする。	定期考査において、数量や図形などに関する、やや複雑な概念や原理・法則について理解度を図る問題を出題し、これらの問題を2割以上得点することを目標にする。	(1) 毎回の授業で基礎計算問題を50題出題し9割以上正解できるようにする。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようにする。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	2次関数とそのグラフ 【知識及び技能】 1次関数、2次関数のグラフを描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 平方完成を行い頂点の座標を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフのかき方を理解し、活用しようとする。	・指導事項 基本的な1次関数、2次関数のグラフがかけられる。 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて練習問題を配信する。	【知識・技能】 基本的な1次関数、2次関数のグラフがかけられる。 【思考・判断・表現】 平方完成を行い、グラフがかけられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	6
	2次関数の値の変化 【知識及び技能】 2次関数の最大最小に関する問題解決ができる 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な応用例に関心を持ち、取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフをかき、グラフを読み取る努力をしている。	・指導事項 2次関数の最大最小の解法 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて練習問題を配信する。	【知識・技能】 グラフをかき判断できるかどうか。 【思考・判断・表現】 応用例に積極的に取り組もうとしているかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2次関数の値の変化 【知識及び技能】 2次方程式、2次不等式の解法ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な応用例に関心を持ち、取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフをかき、グラフを読み取る努力をしている。	・指導事項 2次方程式、2次不等式の解法 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 必要に応じて練習問題を配信する。	【知識・技能】 グラフをかき判断できるかどうか。 【思考・判断・表現】 応用例に積極的に取り組もうとしているかどうか。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	三角比 【知識及び技能】 鋭角の参加比の値を求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係を活用できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形的な性質の理解にも積極的に取り組むように努力している。	・指導事項 鋭角の三角比の値の計算 ・教材 50題の計算プリント及び教科書 ・一人1台端末の活用 等 不正解だった計算問題を再確認するために電卓として使用する。	【知識・技能】 鋭角の三角比の値を8割以上正しく計算できる。 【思考・判断・表現】 三角比の相互関係を活用できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	三角比の応用 【知識及び技能】 鈍角の参加比の値を求められるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の正弦・余弦定理等を活用できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形的な性質の理解にも積極的に取り組むように努力している。	・指導事項 鈍角の三角比の値の計算、各定理の活用 ・教材 50題の計算プリント及び教科書 ・一人1台端末の活用 等 不正解だった計算問題を再確認するために電卓として使用する。	【知識・技能】 鈍角の三角比の値を8割以上正しく計算できる。 【思考・判断・表現】 三角比の各定理を活用できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	データの分析 【知識及び技能】 平均、分散、標準偏差の計算が正しく行えるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 相関係数を活用できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 細かい計算、概念を理解できるように努力している。	・指導事項 平均、分散、標準偏差の計算 ・教材 50題の計算プリント及び教科書 ・一人1台端末の活用 等 不正解だった計算問題を再確認するために電卓として使用する。	【知識・技能】 平均、分散、標準偏差の計算が正しく行えるようになる。 【思考・判断・表現】 相関係数を活用できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) 基礎計算問題を9割以上正解できるようになる。 (2) 毎回の授業で、ノートを丁寧にとれるようになる。 (3) 知識・技能が身につく課題を期限までに提出できる。	○	○	○	15

定期考査				○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 組～組

教科担当者：（AE組：小高）

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・レジスタンストレーニング</li> <li>・柔軟体操</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>E 単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール</li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる</li> </ul>				

1 学期	<p>るとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>る。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	18
H 単元 体育理論	<p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 2 運動・スポーツの学び方 <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツにおける技能と体力</li> <li>スポーツにおける技術と戦術</li> <li>技能の上達過程と練習</li> </ul> </li> <li>教材</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
A 単元 体づくり運動	<p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動</li> <li>レジスタンストレーニング</li> <li>柔軟体操</li> </ul> </li> <li>教材 <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、プリント、各用具</li> </ul> </li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
E 単元 球技	<p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>テニス</li> <li>卓球</li> </ul> </li> <li>教材</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる</p>				

<p>るとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>る。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	16
<p>B 単元 器械運動</p> <p>【知識及び技能】 技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動</li> </ul> </li> <li>・教材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4
<p>H 単元 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>2 運動・スポーツの学び方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な動きのメカニズム</li> <li>・体力トレーニング</li> <li>・運動やスポーツでの安全の確保</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・教材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>C 単元 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12分間走</li> <li>・持久走</li> </ul> </li> <li>・教材 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、プリント、各用具</li> </ul> </li> </ul>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p>				

	<p>ともに、各種日特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをして、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>E 単元 球技</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>・指導事項 ・サッカー</p> <p>・教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
							合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位  
 対象学年組：第2学年 組～組  
 教科担当者：（AE組：小高）  
 使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。  【学びに向かう力、人間性等】 ・学習内容に関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付ける。	・指導事項 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 ・教材 教科書、プリント、ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。  【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	4単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。  【学びに向かう力、人間性等】 ・学習内容に関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付ける。	・指導事項 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 ・教材 教科書、プリント、ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解している。  【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 文末を「～しようとしている」／「～している」などとして、評価規準を作成してください。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	4単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解している。	・指導事項 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	【知識・技能】 ・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解している。				

3 学 期	<p>く、自己又は他の経験を元とし、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>10 さまざまな保健活動や社会的対策</p> <p>11 健康に関する環境づくりと社会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材 教科書、プリント、ICT機器</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>健康を支える環境づくりについて理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	
							合計	35

教科:	家庭	科目:	家庭基礎	単位数:	2	単位
対象学年組:	第 2 学年	組~	組			
教科担当者:	( 組: 相原幸子 )	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )
使用教科書:	( 家庭 707 図説家庭基礎 )					

教科	家庭基礎	の目標:	
【知識及び技能】			
【思考力、判断力、表現力等】			
【学びに向かう力、人間性等】			
科目	家庭基礎	の目標:	家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元名: 自分らしい生き方と家族 【知識・技能】 ・ライフステージごとの発達課題や、ライフイベントについて理解する。 ・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し、自覚できるようにする。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。 【思考・判断・表現】 ・職業につく意義や多様化する就業形態について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己分析をして、自分のことを紹介することができる。 ・将来の自分がつくる家族について考えようとしている。単元	・指導事項 1節 生涯発達する人生 2節 これからの人生をデザインする 3節 青年期を生きる 4節 生活を支える労働 5節 生活時間から見えてくるもの 6節 男女共同参画社会をめざして 7節 現代の家族 8節 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9節 家族に関する法律の理念と変化 10節 家族にかかわる法律  ・教材 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・家事労働について話合うことで、現在の自分について理解し、他者の意見を聞き、課題が見つければ改善することを考えられる。 ・自分自身の生活を見つめ、自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。 ・自分にとっての家族について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己分析をして、周りの人に自分のことを紹介することができる。 ・人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかろうとしている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。 ・法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由、権利と責任などについて、考えようとしている。	○	○	○	7
	B 単元名: 子どもとかわる 【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識する。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。 ・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることを理解する。 ・手縫いで簡単な幼児のおもちゃの製作ができる。 (はさめるマスコット) 【思考・判断・表現】 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・遊びの影響や種類を理解し、今日の課題解決に向けた行動を挙げることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもとの交流を通して、遊びが豊かになるよう工夫することができるようにする。 ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。単元	・指導事項 1節 子どもの誕生 2節 からの発達 3節 運動機能の発達と知的発達 4節 かわりのなかの発達 5節 子どもの生活習慣と健康 6節 子どもの食生活・衣生活 7節 子どもと遊び 8節 親になることを考えよう 9節 すこやかに育つ環境と支援 10節 子どもを守る法律・制度 妊婦体験 はさめるマスコット製作  ・教材 ・妊婦体験セット ・プリント ・新生児人形 ・乳児・幼児の動画 ・はさめるマスコット見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識することができる。 ・妊婦体験を通して、妊婦の体の特徴を理解する。 ・誕生から幼児期までの子どものからの発達について理解する。 ・運動機能の発達と知的発達について理解できる。 ・幼児のおもちゃ(は冷めるマスコット)を製作する。 【思考・判断・表現】 ・発達段階に応じた子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習慣とその重要性について理解できる。 ・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えることができる。 ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・妊婦体験を通して、妊婦への接し方について考え行動しようとする。 ・子どもの発達段階を考えたおもちゃを作成しようとしている。 ・保育実習などにおいて、子どもと関わろうとしている。 ・自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習しようとしている。	○	○	○	10
	C 単元名: 高齢者とかわる 【知識・技能】 ・高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し介護の実態を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。単元単元名: 衣生活をつくる	・指導事項 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者のサポートと介護の心 4節 高齢社会を支えるしくみ 高齢者体験  ・教材 ・プリント ・高齢者体験セット ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか、高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し、介助実習を行っている。 ・認知症の症状と接し方について理解し、相手のことを理解しようとし、支えられる側から、支える側になっていこうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。	○	○		4
	D 【知識・技能】 ・基礎縫い(手縫い)の実習を通して、技術を習得する。	・指導事項 基礎縫い練習 基礎縫いテスト  ・教材 ・プリント ・基礎縫い動画 ・基礎縫い見本	【知識・技能】 なみ縫い・本返し縫い・まつり縫い・ボタン付けができる。	○	○	○	4
	定期考査 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解しているか確認す	期末テスト	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解している。	○	○		1
2 学 期	E 単元名: 衣生活をつくる 【知識・技能】 ・衣服の機能を理解する。 ・繊維の種類と特徴について理解する。 ・糸と布の種類・構造について理解する。 【思考・判断・表現】 ・衣服素材の性能について理解し、衣服の入手から処分まで、衣生活を計画的に考えられるようになる。 ・衣服を購入する際の表示の見方がわかる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の方法や注意点を理解する。 ・家庭洗濯の方法とポイントを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。単元	・指導事項 1 節 人と衣服のかかわり 2節 健康で安全な衣服 3節 衣服素材の種類と特徴 4節 衣服素材の性能と改善 5節 衣生活の計画と購入 6節 衣服の管理 7節 家庭での洗濯・保管8節 持続可能な衣生活をつくる ・スウェーデン刺繍の製作  ・教材 ・プリント ・繊維・織物の映像 ・衣類の手入れの動画 ・スウェーデン刺繍の見本 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から、衣服が持つ機能を理解することができる。 ・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 ・織物・編物の種類や構造が理解できる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や、洗剤のはたらきについて理解できる。 ・アイロンを適切にかけることができる。 ・スウェーデン刺繍の製作ができる。 【思考・判断・表現】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。 ・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し、表示から必要な情報を読み取ることができる。 ・衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身につけ、衣服管理において適切な判断ができる。 ・アイロンを適切にかけることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 ・実験に積極的に参加しようとしている。 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	F 単元名: 食生活をつくる 【知識・技能】 ・現代の食生活の傾向を理解し、健康的な食生活の必要性に気づく。 ・栄養とからだのつながりや栄養素と水のはたらきを理解する。 ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について理解する。 【思考・判断・表現】 ・食中毒の種類を学び、衛生的な管理に結びつける。 ・安全なものを食べるための取り組み、環境への取り組みを考える。 ・食事摂取基準を理解し、実際にバランスのよい食事計画につなげることができるようにする。 ・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを考慮しながら、家族や状況にあわせて献立を作成できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習を通して、調理技術を習得する。単元	・指導事項 1節 私たちの食生活と健康 2節 ~7節 5大栄養素(炭水化物・脂質・タンパク質・無機質・ビタミン) 8節 その他の食品 9節 食品の選択と表示 10節 食品の衛生 11節 食料自給率と食のグローバル化 12節 食の未来と環境への取り組み 13節 食事摂取基準 14節 食品群別摂取量のめやす 15節 献立作成 16節 調理の基本 調理実習・技能テスト(リンゴの皮むき・きゅうりの半月切り) 味覚実験  ・教材 ・プリント ・エプロン・三角巾等 ・成分表 ・調理実習動画 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 ・5大栄養素と水についての基礎的な知識を習得できる。 ・食中毒の種類や予防法等について理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 ・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる。 【思考・判断・表現】 ・外食やコ食について理解を深めようとしている。 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ・衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。 ・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 ・食品添加物の種類やその使用の目的について理解し、安全性についても考えられる。 ・調理実習においては、積極的に参加しようとしている。後片付けまできちんと行っている。 ・食事マナーを身につけ、楽しく食事することができる。	○	○	○	8
	定期考査 【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解しているか確認す	期末テスト	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査を通して、1学期に学習した内容を理解している。	○	○		1
G 単元名: 住生活をつくる 【知識・技能】 ・住まいの機能や文化、生活様式について理解する。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を	・指導事項 1 節 人と住まいのかかわり 2節 平面計画からみた住空間 3節 ミニマリズムと住空間の計画	【知識・技能】 ・住まいの機能や文化、生活様式について理解できる。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を					

<p>・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しや音、冷暖房などの要素を理解する。</p> <p>・自然災害や人為的な災害と対策について理解する。</p> <p>・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。</p> <p>・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・平面図の読み取りができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・将来どのような家に住みたいかシミュレーションすることができる。</p>	<p>3節 ノイソノノーンと住まいの計画</p> <p>4節 健康に配慮した住まい</p> <p>5節 安全な住まい</p> <p>6節 持続可能な住まい</p> <p>7節 これからの住まい</p> <p>・教材</p> <p>・プリント</p> <p>・動画</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>理解できる。</p> <p>・家庭内事故と安全な住まい環境について理解する。</p> <p>・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・平面図の読み取りができるようになる。</p> <p>・自然災害や人為的な災害と対策が出来るようになる。</p> <p>・不動産広告から正しい情報を読み取り、判断できる。</p> <p>・空間に自分で適切な家具などの配置が決定できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・将来どのような家に住みたいかシミュレーションし、よりよい住環境について思考することができる。</p>	○	○	○	8
<p>II 単元名：消費行動を考える</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・さまざまな契約や主体的な消費行動について理解する。</p> <p>・さまざまな問題商法や、被害にあった場合の解決方法について理解する。</p> <p>・消費者の権利と責任について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・さまざまな支払い方法のしくみや計画的にお金を使うことの大切さを知る。</p> <p>・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1節 契約と主体的な消費行動</p> <p>2節 多様化する販売方法と問題商法</p> <p>3節 消費者を守る制度・法律</p> <p>4節 多様化する支払い方法</p> <p>5節 消費者の権利と責任</p> <p>6節 持続可能な社会の構築</p> <p>7節 持続可能な社会をめざす取り組み</p> <p>・教材</p> <p>・プリント</p> <p>・動画</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・「契約」の基本的なしくみを理解できる。</p> <p>・情報リテラシーの大切さを理解できる。</p> <p>・クレジットやローンなどの消費者信用を前提とした支払い方法のしくみを理解できる。</p> <p>・多重債務に陥らないために、計画的に支払うことの大切さがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自分たちが消費行動を日々行っている消費者であることを理解し、消費行動においては、都度意思決定が行われていることが理解できる。</p> <p>・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。</p> <p>・多重債務に陥らないために、計画的に支払うことの大切さがわかる</p> <p>・SDGsについて、身近な例をもとに思考・判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。</p> <p>・環境ラベルについての知識がある。</p> <p>・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。</p>	○	○	○	4
<p>3 学期</p> <p>I 単元名：経済的に自立する</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・家計の構成や、収入と支出の特徴を理解する。</p> <p>・生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。</p> <p>・資産運用について理解できる。</p> <p>・家計と国民経済・国際経済のつながりについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・給与明細の見方を学習し、給与の使い方をシミュレーションできる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1節 日々の収入・支出を把握する</p> <p>2節 社会と家計の変化</p> <p>3節 長期的な経済計画を立てる</p> <p>4節 経済のなかの家計</p> <p>・教材</p> <p>・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・家計の構成がわかる。</p> <p>・収入と支出の種類と特徴がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・給与の使い方をシミュレーションし、思考することができる。</p> <p>・保険や金融商品などの種類や特徴について知識を身につけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・経済的な自立に向けて、長期的な経済設計が立てられるようになる。</p>	○	○	○	16
合計						70

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

英語

科目

英語コミュニケーションⅠ

教科:	英語	科目:	英語コミュニケーションⅠ	単位数:	2	単位:	
対象学年組:	第 2 学年	組~	組				
教科担当者:	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )	( 組: )
使用教科書:	( VISTA English CommunicationⅠ 三省堂 )						
教科	英語	の目標:					
【知識及び技能】	基礎的な語彙、文法を理解し、これらを用いて適切な英文を書き、かつ正しい発音で発話することができる。						
【思考力、判断力、表現力等】	英文を読み、その趣旨をつかむことができると共に、基礎的な語彙。文法を用いて日常の出来事や自分の考え等を表現することができる。						
【学びに向かう力、人間性等】	間違いを恐れずに英語で話そうとする姿勢を持ち、かつ周りと協力、協調して学習に取り組むことができる。						
科目	英語コミュニケーションⅠ	の目標:					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な文法、会話表現、基本単語を理解し、かつ正しいアクセント・発音で発話ができる。	英文を読み、その趣旨をつかむことができる。日常の出来事や自分の考えを英語で表現できる。各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。	日常授業で間違いを恐れずに主体的に英語で話をしようとしている。ペアワーク、グループワークに積極的、協力的に参加することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・挨拶や相槌などを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・挨拶の仕方や教室英語、日付・天候の表現、基本単語などをリピーター練習する。  ・話す、書く、聞く活動をバランスを取りながら実施する。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。				5
	B 単元 【知識及び技能】 ・簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進行形を用いて自己表現、物事の状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Lesson3の内容を復習する。  ・進行形の用法を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				6
	C 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、一般動詞の現在形の用法を理解し、それらを用いて簡単な会話や英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一般動詞を用いて簡単な状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Lesson3の内容を復習する。  ・一般動詞現在形の肯定文、疑問文、否定文を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				7
	D 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、前置詞や冠詞の用法を理解し、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・中学校における基礎の確認をする。Look and Learn で三人称単数形現在形について復習させる。  ・一般動詞現在形の肯定文、疑問文、否定文を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				6
	定期考査						
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、be 動詞の用法、一般動詞の用法を再確認し、それらを用いて簡単な英文を書き、かつ話することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・be 動詞、一般動詞を用いて自己表現ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・1学期に学んだことを復習する。Lesson4-1の新種単語、本文の内容を理解する。  ・助動詞can, willの肯定文、疑問文、否定文の用法を理解する。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				5
	F 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、現在進行形の用法を学び、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一般動詞の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson4-2について学習する。新出単語、本文の内容を学ぶ。  ・動名詞が主語、目的語として用いられる用法を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				7
	定期考査						1
3 学 期	G 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、助動詞の用法を、それらを用いて簡単な英文を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・助動詞can, must, mayの用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson4-3について学習する。新出単語、本文の内容を学ぶ。  ・動名詞が補語、前置詞の目的語として用いられる用法を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				7
	H 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、複数形、代名詞、疑問文の用法を、それらを用いて簡単な英文を書き、かつ話することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数形、代名詞、疑問文の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson5-1について学習する。  ・不定詞の名詞的用法を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。				7
	定期考査						1
I 単元 【知識及び技能】 ・基本単語、過去形の用法を、それらを用いて簡単な英文を書いたり、話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・過去形の用法を用いて簡単な人物・状況説明ができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・辞書等で主体的に調べ学習ができる。 ・挨拶や日常表現の練習に主体的かつ積極的に参加できる。	【指導事項】 ・Lesson5-2, 3について学習する。  ・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を学ぶ。  【教材】 ・教科書、補助プリント、プロジェクター	【知識・技能】 ・語彙、文法を理解し、正しいアクセント・発音で発話ができる。  【思考・判断・表現】 ・日常の出来事や自分の考えを英語で表現することができる。 ・各場面に合った、適切な英語表現を用いてコミュニケーションができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・間違いを恐れずに主体的に英語で話そうとしている。 ・ペアワーク・グループワークに積極的かつ協力協調して参加できる。				15	

		・辞書等で主体的に調べ字音か'でざる。				
定期考査			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和6年度

教科 工業 科目 製図

教科：工業

科目：製図

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 AE 組

教科担当者：秋本 祥

使用教科書：（実教出版「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法での確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>1 学期</b> 単元名 「木造2階建て専用住宅」 【知識及び技能】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 木造2階建て専用住宅 ・（製図例5-1） 配置図兼1階平面図(1:100) 2階平面図(1:100) オリジナル配置・庭園計画 ・（製図例5-4） 立面図(1:100) ・（製図例5-6） 断面図(1:100) ・（製図例5-7） 断面詳細図(1:30) 教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図	【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	34
<b>2 学期</b> 単元名 「木造2階建て専用住宅」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所 ・（製図例6-1） 配置図(1:200) 1-3階平面図(1:100) ・（製図例6-3） 立面図(1:100) 断面図(1:100) ・（製図例6-4） 平面詳細図(1:30) 階段断面詳細図(1:30) ・（製図例6-9） 配筋詳細図(1:30) ・（製図例10-4） 鉄骨詳細図(1:20) 教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図	【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	20
<b>3 学期</b> 単元名 「2級建築士設計製図課題」 【知識及び技能】 身につけてきた知識技術を活用して、2級建築士設計製図課題の条件に違反しない建築計画と要求図面について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 2級建築士設計製図課題の問題文から重要箇所を把握と課題を発見し、解決する力と要求図面で表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 2級建築士設計製図課題について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 2級建築士設計製図課題 ・問題文の読み込みと重要箇所の把握 ・建築物の計画と構想図・基本設計図の作成（エスキス） ・配置図兼1階平面図 ・2階平面図 ・立、断面図 ・矩計図 ・2階床伏図兼小屋伏せ図 教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図	【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16

合計



高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 建築構造A

教科：工業

科目：建築構造A

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 AE組

教科担当者：秋本 祥

使用教科書：（実教出版「建築構造」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名「建築構造のあらし」 【知識及び技能】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・建築構造の歴史的発達 ・建築構造のなりたち ・建築構造の分類 ・建築物に働く力 ・関連する法規と規準  教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。  【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。  【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	単元名「木構造1」 【知識及び技能】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・木材 ・木材の接合  教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1	
2 学期	単元名「木構造2」 【知識及び技能】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・基礎 ・軸組 ・小屋組  教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	単元名「木構造3」 【知識及び技能】 木構造の床組及び階段について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の床組及び階段について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の床組及び階段について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・床組 ・階段  教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学期	単元名「木構造4」 【知識及び技能】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・外部仕上げ ・内部仕上げ ・木造枠組壁構法  教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。  【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。  【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12

学年末考査				○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度

教科 工業

科目 工業技術基礎

教科：工業

科目：工業技術基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 AE組

教科担当者：秋本 祥

使用教科書：（実教出版「工業技術基礎」、「建築実習1・2」、「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について理解させ、関連する技術を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木工Ⅰ (工業技術基礎pp. 226-232) (建築実習2 pp. 79-125) 木工道具、木工機械</li> <li>測量Ⅰ (工業技術基礎pp. 188-195) (建築実習2 pp. 9-51) 距離測量、平板測量</li> <li>造形Ⅰ (工業技術基礎pp. 196-204) (建築設計製図pp. 33-44) 一点透視投影法</li> </ul>	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	25	
2 学期	<p>単元名「展開授業②」</p> <p>【知識及び技能】 木工事、水準測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木工Ⅱ (工業技術基礎pp. 226-232) (建築実習2 pp. 79-125) 木工事(墨付け・加工・組立)</li> <li>測量Ⅱ (工業技術基礎pp. 188-195) (建築実習2 pp. 9-51) 水準測量</li> <li>造形Ⅱ (工業技術基礎pp. 196-204) (建築設計製図pp. 33-44) 二点透視投影法</li> </ul>	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	25	
3 学期	<p>単元名「展開授業③」</p> <p>【知識及び技能】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木工Ⅲ (工業技術基礎pp. 226-232) (建築実習1 pp. 196-203) 木造軸組模型</li> <li>測量Ⅲ (工業技術基礎pp. 188-195) (建築実習2 pp. 9-51) 角測量</li> <li>造形Ⅲ (工業技術基礎pp. 196-204) (建築設計製図pp. 33-44) 二点透視投影法</li> </ul>	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	20	
							合計	70

